

グラグラ配達人～我が社は、ていねいに荷物を運びます～

～基本的な動きを組み合わせる運動（体のバランスをとる運動・体を移動する運動）～

3年体育 7月上旬 12Q（4時間）

附属新潟小学校 教諭 山形 昭

1 目指す姿

比較するすべと関係付けるすべを用いて、箱やボール、棒などを掌に載せ、バランスをとりながら平均台等を移動する動きのこつを見だし、動きを身に付ける子ども

2 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	時							
次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用具を掌に載せながら、歩く動きを行う。 ○ 平均台を歩いて渡る動きを行う。 ○ 用具を掌に載せながら、平均台を渡る動きを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 既有事項 用具1つを掌に載せて平均台を渡る ときの自分の体や用具の動かし方 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 様々な用具を掌に載せて、体育館フロアの上を歩かせる。 ・ 2種類の大きさのダンボール箱数個、大きさや重さ、素材の違うボール数個、長さや重さの違う棒を数本を用具として用意する。 ・ 掌に載せるのは、1つだけとする。 ◆ 何も持たずに、跳び箱や平均台の上を歩いて渡らせる。 ・ 跳び箱1段を並べたコース、低い平均台のコースを用意する。 ◆ 用具1つを掌に載せて、跳び箱コースや平均台コースを歩いて渡らせる。 	3 Q 1 時間							
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫の観点を見て、新たな挑戦の場を設定し、達成に向けて運動する。 ・ 僕は、ケーキ（箱）を2つ重ねた荷物を、低い平均台コースで歩いて渡りたい。 ・ 私は、ケーキ（箱）の上に宝石（ボール）を載せて、高い平均台コースを歩いて渡る。 ・ 僕は、カラー杖（体育棒）を掌に載せて、跳び箱コースを渡れるようにがんばる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #ffffcc;"> 工夫の観点を基に変えた挑戦の場でも、達成できるようになりたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 工夫の観点を示し、箱やボール、棒などを掌に載せ、バランスをとりながら平均台を移動する動きの難易度を上げた挑戦の場で運動させる。 【働き掛け1】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <工夫の観点> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱、ボール、棒【用具】 ・ 1つ、2つ、3つ【数】 ・ 高く、低く【高さ】 ・ 長い、短い【長さ】 ・ 重い、軽い【重さ】 ・ 前、横、後ろ【向き】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「工夫の観点」を基に、掌に載せる用具を変えたり、コースを選択したり、動きを工夫したりして、「できるようになりたい」と考えた子どもは、問いをもったと判断する。 	3 Q 1 時間							
	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ達成できないのか、自分の動きを「動きのカルテ」を視点に調べる。 ・ 動画を見ると、私は、足下ばかり見ている。これが悪いのかな。 ・ 僕は、荷物ばかり見えていて、背中が丸まっているぞ。 ・ 背中が丸まっているぞ。これでよいのかな。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">【比較するすべ】</div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「動きのカルテ」を提示し、タブレット端末で撮影させながら運動させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; border: 1px solid black;">動きのカルテ</th> </tr> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">(目線) (ひじ) (背中) (うで)</td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">足もと 曲げる 丸める 力を入れて 固定する</td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">荷物 のぼす まっすぐ 力をぬいて やわらかく</td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">そのた() そのた() そのた() そのた()</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">そのほかのこつ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> </div>	動きのカルテ				(目線) (ひじ) (背中) (うで)	足もと 曲げる 丸める 力を入れて 固定する	荷物 のぼす まっすぐ 力をぬいて やわらかく	そのた() そのた() そのた() そのた()
動きのカルテ										
(目線) (ひじ) (背中) (うで)	足もと 曲げる 丸める 力を入れて 固定する	荷物 のぼす まっすぐ 力をぬいて やわらかく	そのた() そのた() そのた() そのた()							

二 次	<p>体や用具をこう動かしたり、ある部位を意識したりして動くと、うまくできるようになるのではないかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアに1台ずつタブレット端末を与え、互いの動きを動画で撮影させる。 ・拡大した「動きのカルテ」を提示し、自分の「動きのカルテ」で選んだ動きのこつと同じところにシールを貼らせる。 	3 Q 1 時 間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の動きのカルテ」と「みんなのカルテ」との共通点や相違点を探す。 ・多くの人が、僕と同じ意見だ。 ・僕は、〇〇さんと違って、足下や荷物だけではなく、どっちも見るようにした。そうしたら、端まで行けた。 ・△△を選んでいる人が多いぞ。僕とは違う。もしかして、△△のように動かすと、うまくできるのではないかな。【比較するすべ】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「自分の動きのカルテ」と「みんなのカルテ」との共通点や相違点、動かし方の程度を問う。【働き掛け3】 ・共通点や相違点を発表した子どもに、「どれくらい背中を真っ直ぐにしたのですか」などと、体や用具の動かし方の程度を問い返す。 	
	<p>友達の体や用具の動かし方を自分に取り入れれば、挑戦の場を達成できるのではないかな。まねしてみよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が試している友達の体や用具の動かし方をタブレット端末で撮影しながら、自分の運動感覚や撮影している友達の評価により、動きのこつとなり得るかを判断する。【比較するすべ】 ○ 挑戦の場を達成する。 ○ 達成できた理由を考える。【関係付けるすべ】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 友達の体や用具の動かし方をタブレット端末で撮影させながら試させる。【働き掛け4—①】 ・できない場合には別の体や用具の動かし方を「みんなのカルテ」から選んだり、友達から教わったりしながら試させて、再度評価させる。 ◆ どうして、挑戦の場を達成できたのかを問う。【働き掛け4—②】 	
	<p>僕は、自分の挑戦の場がクリアできました。どうしてできるようになったかという、僕は、背中を丸めて、腕は固定した方がよいと思っていたけど、みんなのカルテを見たら、背中を真っ直ぐにして、腕の力を抜いてやるの方が多かったの、それに気を付けてやってみたからです。</p>		

3 内容の関連

